（議案第2号）　　　　　2019年度事業計画書案

特定非営利活動法人　生活習慣病防止に取り組む市民と医療者の会

1　事業の方針

　　　食事や運動・喫煙・飲酒・ストレス等の生活習慣が深く関与し、発症の原因となる生活習慣病は、がん・脳血管疾患・心疾患・糖尿病・高血圧症・脂質異常症・肥満症等多岐にわたり、また、認知症の発症にも関与している。

生活習慣病は、患者数が多いのみならず、死に至る、また生活に多大な影響を及ぼすなど、全国民的課題として、極めて深刻な状況にある。

　　　一方、生活習慣病の予防には生活習慣の改善が不可欠であるが、自覚症状に乏しく、さらに生活改善が困難であることが大きな問題となっている。さらに、子どもの頃からの良い生活習慣づくりに早期から取り組むことが強く望まれている。

　　　私たち小象の会は、生活習慣病の予防に取り組み、市民の健康寿命を延ばし、一人一人がその人らしく生きることと医療者がそれに協力し支えることを目指し設立された。

　　　そこで、当会は設立の趣旨にのっとり、生活習慣病の発生と進行を防止するため、関係機関と連携し、市民への情報提供、市民と医療者の相互交流を行う。

2019年度は従来通り以下の四つの柱で事業を行うが、特に重点事業として、

①　千葉日報紙上で、　小象の「元気！でいこう」　の連載を継続し、広く県民に生活習慣病防止・生活習慣改善の重要性を情報発信する。

②　2回のフォーラムで講演とクイズ・質問コーナー等を組み合わせることにより、講演で得た知識・理解を双方向の質疑等でさらに深める。

の二点に取り組むことにより、活動の成果を上げる。

また、これらの活動により、理解者・協賛者を増やし、会員会費増・寄付助成金確保を図り、

必要な事業の財源確保に努める。

　（１）　調査・情報事業

　　　　ホームページやブログの内容を充実させ、会員をはじめ、市民と医療・教育・行政関係者に

向け広く生活習慣病と会の活動に関する情報を発信する。ホームページ・メーリングリストを

通じ、会員相互のコミュニケーションを深め、生活習慣病の理解と会の活動の活性化を図る。

　　『小象の会会報』（年２回）と『糖尿病通信』（年1回）を作成し、会員、行政機関及び関係

団体・報道機関などに配布して、生活習慣病に関する情報提供、会の活動の紹介と会員募

集を行う。

　児童生徒向けの啓発活動をさらに推進する。

　（２）　講演会・セミナー等開催事業

　　　　会員・市民・医療関係者向けの生活習慣病予防治療フォーラムの第26回を2019年6月

15日に、第27回を2020年2月15日に主催する。第26回フォーラムは、小象の会通常会

会終了後中村眞人先生の講演『なぜ、運動は必要か？～運動療法の実際～』とクイズ・質問コーナー、体育大学生も加わっての運動指導を行い、引き続き情報交換交流会を開催する。第27回フォーラムは、「老年病学」を中心に講演会とクイズ・質問コーナーを開催する。

また、各種団体などからの出前講演の要請に役員・会員が協力して対応する。

　（３）　連携・協力事業

　　　　　医療関係団体や行政機関・関連団体と連携し、諸会合やイベントに参加して専門的な立場から情報提供し、意見を述べ、提言を行う。

　　　　　　生活習慣病に関連する団体の活動を支援するとともに、さまざまな機会を捉えて情報提供・啓発活動を行う。

　　　　　　ロッテ球団と連携して、ZOZOマリンスタジアムでバックスクリーンの電光掲示板によるメッセージ発信を行うとともに、入場ゲート付近で来場者・家族・子ども達を対象に血圧・体脂肪・血糖値測定や肺機能検査・運動機能テスト・健康相談などの情報提供・啓発活動を行う。

　　　　　　禁煙活動については、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を機に、さらに企業・行政・関係団体と協力して推し進め、千葉県医師会の受動喫煙防止キャンペーンに協力するほか、各種講演活動を積極的に行う。

　　　　　　千葉県糖尿病対策推進会議が進める千葉県糖尿病療養指導士／支援士（CDE‐Ｃｈｉｂａ）認定事業に協力する。同会議が推進する１型糖尿病啓発に協力する。さらに、厚生労働省が主導し、千葉県が推進する糖尿病性腎症及び慢性腎臓病の予防のための啓発事業に協力する。

　　　　　　市民の健康にかかわる様々な問題を踏まえて活動する。

　（４）　関連事業

　　　　　　SNSなどを利用した情報提供・広報活動の可能性を検討する。

　　　　　　また、役員・会員が所属する学会・団体の会議・イベント等に参加して情報提供・広報活動を行う。

　　　　　　これまでの活動をまとめ、生活習慣病予防や健康啓発に係る図書等を企画する。

　　　　千葉日報に連載している　小象の「元気！でいこう」　を取りまとめた書籍の発行が有望と考える。

　　　　　以上を通じ会の活動を活性化し、会員増を目指す。また、理解者・協賛者を増やし、会員増・寄付助成の確保に努める。

2　事業の実施に関する事項

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業名 | 事業内容 | 実施時期 | 実施場所 |
| 調査・情報事業 | （１）情報提供  ①ホームページ及びブログを活用して会の活動の概況や生活習慣病に関する情報を発信  ②会報の発行　第27号第28号  ③糖尿病通信の発行  ④千葉日報に小象の「元気！で行こう」を連載24回）  ⑤メーリングリスト（会員専用の小象メール）を活用して会員への情報提供・コミュニケーション活性化を検討 | 通年  6月12月  11月  通年  通年 | 全国  全県  全県  ― |
| 講演会・セミナー等開催事業 | （１）主催講演会（生活習慣病予防治療フォーラム）  ①第26回『なぜ、運動は必要か？-運動療法の実際‐』　120名  ②「老年病学」　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　180名  （２）出前講演等  行政・関係団体・学校等対象の講演　　　　　　　　　　　　10件 | 6月15日  2月15日  随時 | 千葉市内  プラザ菜の花  千葉市民会館  各地 |
| 連携・協力事業 | （１）会議・イベントへの参加  ①市民のための糖尿病教室  ②健康ちば地域・職域連携推進協議会  ③CDE‐Chibaフェスティバル  （２）ロッテ球団との連携による啓発事業（電光掲示板でのメッセージ発信及びゲート付近での情報提供・広報活動　計3回）  （３）CDE‐Chiba認定試験への協力  ※その他提携・協力への参画　　　　　　　　　　　　　　　　 　1件 | 11月  7月  10月  6月16日7月7日9月1日  通年  通年 | 千葉市  千葉市  千葉市  ZOZOマリンスタジアム  千葉市  県内各地 |
| 関連事業 | （１）広報  ①日刊紙などへの記事提供  ②関連学会での広報  （２）健康関連図書等の企画  （３）活動活性化と事業財源確保  ①会員・会費増  ②寄付助成金確保  （４）15周年記念行事の検討  2020年に15周年記念事業（会報の増ページ等）アイデア募集 | 通年  通年  通年  通年  通年  通年 |  |